

新規・継続等	新規	分野	砂防施設整備		事業番号	8	事業名	砂防(総合流域防災)				
市町村名	天龍村		ふりがな 箇所名	みやまがわ 宮沢川		おおこうち 大河内	事業年度 (完了年度は見込み)	H23 年度～ H27 年度				
事業概要	計画概要 (延長・幅員・面積・工種など)		砂防堰堤工 3基 宮沢川 砂防堰堤新設 H=10.0m L=41.0m 既設堰堤補修 H=10.0m L=67.0m 軒山沢 既設堰堤補修 H=11.0m L=45.0m				H22年度事業進捗率		0.0 %			
	H23年度以降降実施内容		同上				本工事費等ベース		0.0 %			
	H23年度実施内容		測量・調査・設計 1式				用地補償費ベース		0.0 %			
	年度		全体事業費		H21年度まで		H22年度		H23年度		H23年度以降降	
	事業費計(千円)		200,000		0		0		20,000		200,000	
財源内訳	国庫支出金		100,000		0		0		10,000		100,000	
	その他											
	県債		90,000		0		0		9,000		90,000	
	一般財源		10,000		0		0		1,000		10,000	
箇所評価	観点	評価項目・指標等			評価				部	政策評価課		
									ランク	評点	ランク	評点
	必要性 (20)	保全対象人家	10戸以上		1～9戸		0戸		B	5	B	5
		保全対象公共施設	2箇所以上		1箇所		なし			6		6
		保全対象に弱者施設があるか	重要施設有り		一般施設有り		なし			0		0
		保全対象に避難所、避難経路があるか	あり		なし					1		1
	小計									12		12
	重要性 (15)	過去の災害履歴	過去20年に1回以上		災害履歴地		なし		A	3	A	3
		交通遮断による地域経済などへの影響	大		中		小			5		5
		防災計画上の位置づけ	あり		なし					5		5
		小計										13
	効率性 (20)	費用対効果(B/C)	B/C1.5以上		B/C1.0以上1.5未満		B/C1.0未満		A	15	A	15
		早期発現度	5年未満		5年以上10年未満		10年以上			3		3
		流域の総合調整(関連事業の有無を含む)	検討あり		検討なし					0		0
		小計										18
	緊急性 (25)	地質・地形の状況	地質が脆弱かつ地すべり地形		地質が脆弱		その他		A	5	A	5
		植生の状況	無林地や倒木が多い		放置林		その他			4		4
		平均溪床勾配	10度以上		2度以上10度未満		2度未満			7		7
		土砂整備率	0%		0%より大50%未満		50%以上			5		5
		小計										21
	計画 熟度 (20)	地域からの要望	地域住民活動強い		市町村要望有り		特に要望ない		B	6	B	6
		事業情報の共有	関係者以外にも周知		関係者中心に周知		特に周知していない			3		3
		住民参加の状況	住民が直接参加		住民市町村意見を反映		住民意見反映していない			4		4
		小計										13
	費用対効果(B/C)		3.1		評価の合計				A	77	A	77
事業周辺環境	事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	本溪流は平均河床勾配1/6.5の河川で、上流域は浸食が進み、荒廃が見られる。土砂が河道内に堆積している状況である。本砂防施設の施工により民生の安定を図りたい。										
	地域からの要望経緯	H21年、土砂災害防止法の指定がされ、役場を通じ地元より溪流調査を含む対策の要望があり。										
	事業説明等の経緯	平成20年10月天龍村及び地元役員との打ち合わせを実施している。										
	環境・景観への配慮項目	既設堰堤の補強および嵩上げで整備率をあげるにより、土地の改変を極力抑える。										
	他事業・プロジェクトとの関連	特になし。										
	特記事項	特になし。										
地域の合意形成		全員賛成		概ね賛成		過半数賛成		動向不明		その他		
部意見	当該溪流は急勾配河川で、既設の堰堤は土石流対応とはなっておらず老朽化も著しい。集落の避難施設や無形民族文化財の例祭神社も土砂災害特別警戒区域内にあり、また県道及び村道が分断されると大河内集落は孤立化してしまう。よって砂防施設を整備し民生の安定を図りたい。					政策評価課 意見	重要性、緊急性が認められる。					